



テュートリアル課題 理容師の鈴木さん

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2007
号	B4
発行年	2007-10-16
URL	http://hdl.handle.net/10470/29036

2007年度

Block 4 テュートリアル課題

課題番号 4

理容師の鈴木さん



※断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

整形外科学 柴 正弘

シート1

理容業35年の鈴木さんは今年で55歳です。
最近、はさみが思うように使うことが出来なくて困っています。
3ヶ月前から右手のしびれや痛みを感じています。

提示資料 なし

【抽出を期待する項目】

- 右手のしびれ、痛み→神経障害→「末梢神経」
→末梢神経、神経線維の構造、末梢神経損傷の分類
- はさみが思うように使えない→巧緻運動障害
→脳・中枢神経障害、末梢神経障害、筋肉・関節の障害
→筋・神経の解剖、上肢の筋肉および神経支配の解剖
右手しびれ→しびれとは

シート2

鈴木さんは30歳頃まで野球のピッチャーで一生懸命投げていました。
当時、右肘の痛みがありましたが、治療は受けていません。
30年後の現在、右肘関節の変形を認めます。
右手のしびれ、痛みがますます強くなり、右手の筋肉が痩せてきているのに
気が付き、病院を受診しました。
医師は診察後、X線撮影を依頼し、精密検査の予約をしました。

提示資料

1 両手外観写真

2.肘単純X線写真、頸椎単純X線写真

【抽出を期待する項目】

- 肘の痛み、30年後関節変形、肘単純X線写真
 - 1.肘関節の解剖・機能、一般的関節の解剖・機能
 - 2.関節変形、変形性関節症、肘の過度使用（overuse syndrome）
- 肘関節変形、手のしびれ・痛み、手が痩せてきた、外観写真の筋萎縮
 - 関節変形に伴う上肢の神経障害（→上肢の絞扼性神経障害）
- 野球のピッチャー
 - 肘のスポーツ障害
- 診察、精密検査→どんな検査？どんな精密検査？

シート 3

鈴木さんは頸椎のMRI検査を行い、再受診しました。
医師から今までの検査結果の説明を受けましたが、さらに神経を調べる検査を勧められ検査を行いました。

提示資料

3. 頸椎 MRI

4. 身体所見（神経症状、反射、MMT、知覚、Tinel 徴候など）

【抽出を期待する項目】

- 頸椎MRI
 - 画像の理解
 - 頸椎疾患について
- 身体所見（資料4）より
 - 上肢の神経学的神経所見、検査法の理解
 - 尺骨神経の障害、肘部管症候群への診断
- 神経を調べる検査
 - 電気生理学的検査（神経伝導速度検査、針筋電図検査など）

シート4

電気生理学的検査の結果、鈴木さんは診断名を告げられ、治療法について説明を受けました。

提示資料

- 5. 上肢神経伝導速度検査の結果
- 6. 上肢針筋電図検査の結果

【この課題シートが目的とする到達目標】

- 1. 電気生理学的検査（神経伝導速度検査、針筋電図検査）の理解
- 2. 肘部管症候群の診断、治療

2007-B4-T1-4

課題名：理容師の鈴木さん

シート 5

鈴木さんは手術を受けました。

手術後、まだ、右手のしびれは残っていますが痛みは取れました。

はさみも使いやすくなりました。

提示資料

7.術後肘関節X線写真